

2022 年 2 月 1 日～2025 年 2 月 25 日までにおこなった主な変更点 ※最新の修正箇所は太字。

シート	修正内容
解説編 4	RCEP を含め、日本が締結している EPA 一覧の図表をアップデート。
実践編 0-4 取引情報フォーム	<p>1) 2023 年 6 月 2 日のフィリピンでの RCEP 協定の発効を受けて、2023 年 6 月 2 日時点で RCEP が発効している 14 カ国※に所在する輸入者を選択した場合に、「利用できる EPA/FTA」の一覧(最大 4 つまで表示)に RCEP が表示されるようにアップデート。</p> <p>※ブルネイ、カンボジア、中国、日本、ラオス、シンガポール、タイ、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランド、韓国、マレーシア、インドネシア、フィリピン <発効順> ※2023 年 6 月時点でミャンマーのみ RCEP 利用不可。</p> <p>2) 2023 年 2 月 21 日のチリでの TPP11 (CPTPP) 発効を受けて、チリ所在の輸入者を選択した場合に、「利用できる EPA/FTA」の一覧(最大 4 つまで表示)に TPP11 が表示されるようにアップデート。</p> <p>※参考 2023 年 6 月時点での TPP11 発効国／未発効国 発効済: メキシコ、日本、シンガポール、ニュージーランド、カナダ、オーストラリア、ベトナム、ペルー、マレーシア、チリ<発効順> 未発効: ブルネイ</p> <p>3) 日アセアン EPA の附属書 2 (品目別規則) を HS2017 に基づき置き換えた品目別規則が 2023 年 3 月 1 日から実施されることを受けて、日アセアン EPA の HS コードのバージョンが「HS2002」から「HS2017」と表示されるように変更。</p> <p>※参考: https://www.customs.go.jp/roo/text/aseanhakkou.html</p> <p>4) RCEP 協定の附属書 3A (品目別規則) を HS2022 に基づき置き換えた品目別規則が 2023 年 1 月 1 日から実施されることを受けて、RCEP の HS コードのバージョンが「HS2012」から「HS2022」と表示されるように変更。</p> <p>※参考: https://www.customs.go.jp/kyotsu/kokusai/gaiyou/rcep/rcep_20221221.html</p> <p>5) 2022 年 1 月に、日タイ EPA について、付属書 2 品目別原産地規則の HS コードのバージョンが HS2022 から HS2017 に変更となったことを受けて、日タイ EPA の HS コードのバージョンが「HS2017」と表示されるように変更。</p> <p>※参考: https://www.customs.go.jp/kyotsu/kokusai/news/oshirase_thai20211105.html</p> <p>6) RCEP の税率差特別ルール対象品目(※仕向け国限定)の場合には、「当該 HS コードは RCEP の税率差特別ルール対象品目の可能性があります。JETRO の「RCEP 解説書」等をご参照の上、RCEP 原産性をご確認下さい。」とメッセージが出るように機能を追加。</p>

年 2 月 25 日 JETRO 作成

	<p>※日本からの輸出の場合、<u>税率差が発生しうる仕向け国は、中国、タイ、ベトナム、韓国、インドネシア、フィリピン</u>です。</p> <p>7)2023 年 7 月 12 日より、ブルネイでの CPTPP 発効を受け原産地証明ナビを修正。(7 月 14 日対応) ※参考: https://www.customs.go.jp/roo/text/tpp_brunei.html</p> <p>8)日インドネシア EPA 附属書2(品目別規則)を HS2017 に基づき置き換えた品目別規則が 2024 年 2 月 5 日から実施されることを受けて、日インドネシア EPA の HS コードのバージョンが「HS2002」から「HS2017」と表示されるように変更。 ※参考: https://www.customs.go.jp/roo/text/indonesiahakkou.html</p> <p>9)2024 年 12 月 15 日より、英国での CPTPP 発効を受け原産地証明ナビを修正。(2 月 25 日対応) ※参考: https://www.customs.go.jp/roo/text/tpp_uk.html</p>
実践編 3E-1,3-F1	<p>付加価値基準の判定において、完成品価格を入力しないと原産性の判定結果が表示されないよう修正。</p> <p>RVC/QVC(控除方式)の算出方法として、「非材料費からのアプローチ」のチェック項目を追加。</p>
実践編 4 以降の全てのシート	<p>2022 年 1 月 31 日までの旧バージョンから、以下のとおり、シートの構成を変更。4-D1 以降に RCEP 対応シートを追加。</p> <p>4-A1～4-A3 EPA/FTA を利用しない場合の一般的な輸出書類(インボイス、パッキングリスト)</p> <p>4-B1 日 EU・EPA ならびに日英 EPA の原産地申告書類(インボイス)/パッキングリスト作成のための入力シート</p> <p>4-B2 日 EU・EPA 「原産地に関する申告文」が記載されたインボイス</p> <p>4-B3 日英 EPA 「原産地に関する申告文」が記載されたインボイス</p> <p>4-B4 日 EU・EPA ならびに日英 EPA のパッキングリスト</p> <p>4-C1 TPP11(CPTPP) 原産地証明書/インボイス/パッキングリスト作成のための入力シート</p> <p>4-C2 TPP11(CPTPP) 原産地証明書(Certification of Origin)</p> <p>4-C3 TPP11(CPTPP) インボイス</p> <p>4-C4 TPP11(CPTPP) パッキングリスト</p>

年 2 月 25 日 JETRO 作成

	4-D1	RCEP 原産品申告書/インボイス/パッキングリスト作成のための入力シート
	4-D2	RCEP 原産品申告書 (Declaration of Origin)
	4-D3	RCEP インボイス
	4-D4	RCEP パッキングリスト

シート	修正内容
0-4	【取引情報フォーム】 各 EPA が採用している HS コードのバージョンが表示されるよう機能を追加。
3-D1,D2,E1,E2,F1,F2	「3.原産地判定を行う輸出品の情報」の「商品名」の枠を拡大。
4-1～4-6	備考欄・Remarks の書式を修正。
4-3	Gross weight/Net weight の表記を修正。
4-2,4-3,4-4	Sender/Receiver から、より一般的な Seller/ Buyer に変更。

2021 年 8 月の公開日～2022 年 1 月 31 日までにおこなった主な修正点